

明るい未来への一步

都筑から広がる

「循環の輪」を世界へ

横浜市会議員 市来えみこ

「捨てる」から「循環さし、液肥として再利用する」社会へ。限りある業務用生ごみ処理機の資源を大切に使いながら、環境を守り、地域や経済も元気にする「サーキュラーエコノミー」の取組が広がっています。都筑区には微生物の力で生ごみを分解・液化

残ったものを資源として再び地域へ還す。身近な「食」から循環の輪が生まれています。

私はこれまで、各地の先進事例を視察し、地域企業が持つ技術やアイデアを横浜の循環型まちづくり

に生かせないかと考えてきました。その経験を踏まえ、5月の横浜市一般会質問では企業やNPO、学校、福祉施設、地域などの力をつなぎ、横浜全体へ循環の輪を広



いちき 市来えみこ

横浜市泉区生まれ(58歳)
青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学
大学院言語学部修了/米国パライーガル
家族:娘、両親、愛犬
☎070-9053-1968
✉ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
都筑区中川中央1-22-5 #402



サーキュラーエコノミーに取り組む区内企業の発表を視察

都筑で生まれた小さな循環を横浜全体へ、そして世界へ。横浜グリーンエクスポを契機に、次世代が「ここに住み続けたい」と考える横浜を目指してまいります。

循環型社会は、単なる「ごみ問題」ではありません。環境、経済、福祉、教育、農業、まちづくりをつなぎ、子どもから高齢者まで、一人ひとりが暮らしの中で参加できる社会をつくることです。